

# 2017愛顔つなぐえひめ国体 本県代表選手決定！

### 10月6日から10日まで 愛媛県松山市で開催

平成29年度の第72回国民体育大会は、9月30日から愛媛県を中心に開催されます。陸上競技は、10月6日から10日までの5日間にわたり、松山市で行われます。

その大会に出場する本県の代表選手の選考会を8月12日に行いました。参加条件や制限等を確認し、本県の代表選手を29人とすることを決めた後、選考のねらいや選考基準等について強化部の提案を協議しました。

こうした手続きを経て、標準記録を突破した選手や入賞が期待できる選手、全国ランキング・将来性等を総合的に勘案して男子18人、女子11人を選出しました。

愛媛国体では、個人3位以内入賞3～5個、4～8位入賞5個の目標を定め、総合得点45点をめざした陣容になっています。ちなみに、前回の若手国体での入賞は、個人の4人と400mリレーの5種目で総合得点32点、36位の成績でした。

今回の本県選手団は、安定した力を発揮し、毎回入賞を果たしている九電工の下野伸一郎選手をはじめ、ふるさと選手8人を加えています。前回5位に入賞した男子リレーチームには今回も期待が高まります。また、山形インターハイで2種目に入賞した神村学園高校のカマウタビタジュリ選手は、国体初出場が優勝を目指します。

これまで熱心に指導にあたってこられた関係各位の御尽力を労い、各選手の健闘を心から念じています。若手国体の名誉挽回を図り、2020年鹿児島国体に向けて一層のステップアップ、各選手の頑張りに期待しています。

男子監督は強化部の河野優一副部長、女子監督は新開浩一部長が務めます。

代表選手は下記のとおりです。

## 【男子】 (成年)

100m	(F)白石	黄良々	(大東文化大3年)
4×100mR	(F)橋元	志毅	(富士通)
110mH	(F)前田	毅	(立命館大3年)
400mH	(F)有田	英憲	(環太平洋大4年)
走高跳	(F)上別府	剛志	(九州共立大3年)
走幅跳	(F)下谷	伸一郎	(九電工)
やり投	(F)松野	星	(鹿児島銀行)

## (少年A)

100m	竹之	卓也	(甲南高2年)
400m	優	成哉	(川薩清修館高3年)
400mH	橋場	哉	(鹿児島南高3年)
棒高跳	麻生	幹雄	(鹿児島南高3年)
走幅跳	石原	龍聖	(鹿児島南高3年)
ハンマー投	杉山	優馬	(鹿児島南高2年)

## (少年B)

100m	西年	田中	駿	(野田中3年)
3000m	荒武	真也	也	(国分中央高1年)
走幅跳	有村	拓巳	巳	(鹿児島南高1年)

## (少年共通)

走高跳	久保	春佑	(鹿児島高3年)
三段跳	岩崎	孝史	(鹿児島高3年)

## 【女子】 (成年)

100mH	(F)中釜	佐和子	(東京学芸大2年)
走高跳	(F)丸美	由紀	(園田学園女大3年)
三段跳	末永	成美	(鹿児島銀行)

## (少年A)

3000m	カマウ	タビタ	(神村学園高2年)
400mH	淵田	杏奈	(鹿児島女子高3年)

## (少年B)

100m	山崎	千聖	(鹿児島高1年)
100mH	金沢	音杏	(古仁屋中3年)
走幅跳	竹元	咲	(高尾野中3年)

## (少年共通)

1500m	平田	歩弓	(神村学園高2年)
三段跳	川島	杏純	(鹿児島高3年)
やり投	山	祐季	(鹿児島女子高2年)

注) 白石黄良々をはじめ(F)のついた8選手は、ふるさと選手制度を活用して本県から出場します。

## 第72回

# 県陸上競技選手権大会開催

### 納稚乃(九州共立大)女子やり投 県新・大会新 白石黄良々(大東文化大)2年連続2種目制覇

第72回鹿児島県陸上競技選手権大会は、7月1日から3日まで3日間にわたり県立鴨池陸上競技場で行われました。梅雨の最中にもかかわらず、例年になく好天に恵まれて熱戦が展開され、4つの大会新記録や県新記録、高校新記録が生まれました。

女子やり投で九州共立大学の納稚乃が48m83の県新記録及び大会新記録で勝利しました。

男子三段跳においては環太平洋大学の松田敬佑が15m61を跳び、前回大会で38年振りに竹之内優汰が出した記録をさらに更新しました。男子十種競技では大隅鹿屋病院の坂本都志記が大会新記録となる7083点で優勝を飾りました。

また、女子棒高跳では鹿屋高校の山口華怜が2m90の県新記録・県高校新・大会新のトリプル新記録をマークしました。

本大会で活躍した選手に贈られる玉川杯は、男子十種競技で大会新記録をマークした坂本都志記(大隅鹿屋病院)とカマウタビタジュリ(神村学園高)に贈られました。今後ますますの成長、活躍を期待しています。

今年度の各種目の選手権者及び記録は次のとおりです。

## 【男子】

100m	10"87	白石黄良々(大東文化大)
200m	21"36	白石黄良々(大東文化大)
400m	48"28	橋元優成(川薩清修館高)
800m	1'54"55	大津屋省吾(鹿児島大)
1500m	3'58"99	中山謙(鹿児島大)
5000m	15'00"78	田口哲(日置市役所)
10000m	30'55"71	中村高洋(京セラ鹿児島)
110mH	15"07	井田龍之介(鹿児島高)
400mH	53"71	馬場園知哉(鹿児島南高)
3000mSC	9'32"58	中園陸人(志学館大)
5000mW	24'44"80	石走陽介(鹿児島工高)
4×100mR	41"51	川薩清修館高
4×400mR	3'21"34	鹿児島南高
走高跳	2m06	山中亮磨(鹿児島陸協)
棒高跳	4m80	麻生幹雄(鹿児島南高)
走幅跳	7m49	米森亮(東海大)
三段跳	15m61(大会新)	松田敬佑(環太平洋大)
砲丸投	12m41	榎田賢人(伊集院高)
円盤投	42m45	市来優馬(鹿児島陸協)
やり投	67m41	松谷昂星(鹿児島銀行)
十種競技	7083点(大会新)	坂本都志記(大隅鹿屋病院)

## 【女子】

100m	12"46	鶴田玲美(大東文化大)
200m	25"14	鶴田玲美(大東文化大)
400m	59"24	佐野亜衣(鹿児島高)
800m	2'18"56	松元遥香(環太平洋大)
1500m	4'21"57	カマウタビタジュリ(神村学園高)
5000m	16'34"66	足立由真(京セラ)
10000m	34'38"20	足立由真(京セラ)
100mH	14"44	中签佐和子(東京学芸大)
400mH	1'03"27	淵田杏奈(鹿児島女子高)
3000mSC	12'00"85	西佳苗(鹿児島大)
5000mW	25'26"71	横山ひろり(国士館大)
4×100mR	48"07	鹿児島高
4×400mR	3'55"26	鹿児島女子高
走高跳	1m70	鐵丸美由紀(園田学園女大)
棒高跳	2m90	山口華怜(鹿屋高)
(県新・県高校新・大会新)		
走幅跳	5m89	内之倉由美(早稲田大)
三段跳	12m29	末永成美(鹿児島銀行)
砲丸投	11m37	松並沙紀(鹿児島女子高)
円盤投	36m81	飛松英久子(鹿児島女子高)
ハンマー投	40m09	川越奈々美(志学館大)
やり投	48m83	納稚乃(九州共立大)
(県新・大会新)		
七種競技	4656点	富満美月(東京女子体育大)

## 全国インターハイ(南東北総体)

**岩崎孝史(鹿高)三段跳で2位入賞**  
**カマウ タビタ ジェリ(神村学園高) 2種目入賞**  
**麻生幹雄(鹿南高) 5位 山元祐季(鹿女高)6位**

平成29年度全国高校総合体育大会秩父宮賜杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会は、7月29日から8月2日まで5日間にわたって山形県天童市のNDソフトスタジアムで行われました。

南九州大会を勝ち抜いて本選に駒を進めた本県の精鋭たちは、男女合わせて32種目で43人、延べ47人、リレー4種目に7チームが檜舞台に立ちました。

成績は5人が6種目において入賞しました。最も上位入賞を果たしたのは、男子三段跳で15m31を跳んで2位に入った鹿児島高校の岩崎孝史でした。神村学園高校のカマウ タビタ ジェリは女子3000mにおいて9分1秒73で走り3位、1500mでは4分17秒86の5位と2種目入賞を果たしました。

また、鹿児島南高校の麻生幹雄は男子棒高跳で4m90を跳び5位、鹿児島女子高校の山元祐季は女子やり投で47m52の記録で6位に入りました。

全国総体で活躍した選手には、愛媛国体が控えています。全国インターハイでの経験をバネにしてさらなる挑戦をしてくれるものと楽しみにしています。

## 全国中学校大会

**竹元 咲(高尾野中) 走幅跳で準優勝**

平成29年度全国中学校体育大会第44回全日本中学校陸上競技選手権大会は、8月19日から21日まで3日間にわたり、熊本県の県民総合運動公園陸上競技場(えがお健康スタジアム)で行われました。

本県から標準記録を突破した選手と推薦を合わせ、リレーを含め男女21人が11種目に出場しました。

高尾野中学校の竹元咲が女子走幅跳において、5m83の跳躍で2位に入りました。また、田崎中学校の原田まりんが女子1500mにおいて、4分24秒28のタイムで7位に入賞しました。

## 全国小学生陸上競技交流大会

**中窪日向(高山Jr) 100mで2位入賞!**

第33回全国小学生陸上競技交流大会は8月19日に横浜の日産スタジアムで行われ、本県からリレーを含め男女合わせて21人が出場しました。

結果は、高山Jr陸上クラブの中窪日向が男子6年100mで12秒30で走り、2位と活躍しました。

## 第75回国民体育大会鹿児島大会(平成32年)

**燃ゆる感動かごしま国体 10月3日(土)~13日(火)**

**燃ゆる感動かごしま大会 10月24日(土)~26日(月)**

先月8月8日に第75回国民体育大会鹿児島県準備委員会第7回総会が鹿児島市のサンロイヤルホテルで開催され、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」実行委員会へ改組や会則改正等が協議され、承認・決定しました。

これまでは第75回国民体育大会の開催に向けて準備が進められてきましたが、これに第20回全国障害者スポーツ大会を含めた取組を推進する体制となっています。

実行委員会の構成は、知事を会長とし、副会長や常任委員、委員等356人がメンバーとなり、多くの県内の機関・団体の支援・協力をいただく体制になっています。

この会議で第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」の会期を、10月3日(土)から13日(火)までの11日間、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」を24日(土)から26日(月)までの3日間とするという報告がありました。

「燃ゆる感動かごしま国体」は、正式競技37、特別競技1、公開競技5、デモンストラーションスポーツ36の開催が計画されています。

また、「燃ゆる感動かごしま大会」は、個人競技6、団体競技13の競技が行われます。現在、オープン競技の募集が行われ、応募期限は10月2日(月)となっています。

**陸上競技の会期 10月9日(金)~13日(火) 5日間**

陸上競技の会期は、大会第7日目の10月9日(金)から最終日の13日(火)までの5日間開催する計画です。

実施する種目については、リレーを含め55種目の予定で第76回大会開催の三重県と協議・調整中です。

## 2020年鹿児島国体

**「チームかごしま」ジュニアアスリート認定**

県は、2020年に鹿児島で開催される国民体育大会において活躍が期待される34競技の県内の小中学生475人を「チームかごしま」ジュニアアスリートとして認定し、その授与式が8月28日に鹿児島市の市民文化ホールで行われました。

陸上競技からは37人が推薦され、田崎中学校の原田まりんが代表で認定証を受けました。また、高尾野中学校の竹元咲がすべて選手を代表して、決意のことばを述べました。

**鹿児島陸協 鹿児島ゴールデンアスリート育成**

本協会としても「鹿児島ゴールデンアスリート(KGA)」育成事業に取り組んでいます。現在、約140人を対象に、4月29日に第1回練習会を実施し、8月28日の午前に第2回目の練習会を行いました。

今後、毎年、毎年の成績等を評価しながら、2020年開催の国体本番に向けて、より質の高い取組を進めてまいります。

## 鹿児島マラソン2018

### 募集開始

フルマラソン 10,000人

ファンラン 2,500人

第3回となる鹿児島マラソン2018は、来年3月4日に行われますが、9月1日から募集が始まりました。募集開始に先立ち、8月31日に鹿児島市のデパートの広場でイベントが開かれ、本坊会長の出席しました。

イベントには鹿児島女子高校の書道部員が書道パフォーマンスを披露し、鹿児島市出身のバレーボールの元オリンピック選手迫田さおりが大会の広報大使アンバサダーを務めることになり、紹介がありました。

募集定員はフルマラソンの部はこれまでと同様10,000人、8.9kmのファンランの部は500人増の2,500人となっています。募集期限は専用振替払込用紙の場合、9月29日(金)の消印有効、インターネットは30日(土)午後5時までです。

参加料は、マラソン1万円、ファンラン3千円です。応募者多数の場合は、抽選となります。また、今回の大会では、3万円のふるさと納税をしたら、出場できる特別枠も設けられています。

9月10日現在の応募状況は、マラソンの部7,155人、ファンラン1,438人となっているそうです。

### 東京マラソン(RUN as ONE)及びMCCと提携

鹿児島マラソンは前回大会から東京マラソンのRUN as ONE - Tokyo Marathonと提携しています。男子2時間55分内、女子3時間40分以内という推薦基準タイムをクリアしたら、平成31年の東京マラソンへの出場権が与えられます。東京マラソン2017にはこの制度を使って2人のランナーが出場しました。

また、鹿児島マラソン2018は、マラソンチャレンジカップ(MCC)対象の大会に認定されています。これは、日本のマラソン選手の発掘・育成を期待して、月刊誌『ランナーズ』の関連会社アールビーズスポーツ財団が今年度設けたプロジェクトです。記録ごとに賞金が設定され、鹿児島マラソン2018で大会新記録を達成すると50万円に相当し、日本最高記録を達成すると1億円が贈られるそうです。

平成30年3月4日(日) 午前8時30分 号砲

### 大会成功を期して 競技運営に御協力を!

前回大会は、スタート直後から雨が降り出し、次第に大雨となり、しかも気温も徐々に低下し、非常に厳しい状況下でのレースとなりました。そんな中で競技運営にあたっていただいた皆さまのおかげで、完走率89.9%を記録しました。

また、第1回の鹿児島マラソン2016は、インターネットランニングサイトの「全国ランニング大会100選」に入っています。これはひとえに運営にあたっていただきました競技役員や補助員、ボランティアの方々の誠実な御尽力の賜物であり、とても嬉しくありがたく存じます。改めて感謝を申し上げます。

近日中に2018大会の競技役員の依頼をいたします。前回大会を始め、これまでの運営にあたっていただきました皆さまの御理解と御支援御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 編集後記 公認大会実施 増える

揖宿地区陸上競技協会は、8月26日(土)に初の陸上競技記録会をナイターで実施し、成功裡に終了しました。

また、10月22日(日)開催の第30回出水ツルマラソン大会、12月3日(日)開催の第38回ランニング桜島も公認大会として行うことになっており、公認大会が増えています。

こうした取組が地区陸協の活性化の一助になることを期待しています。